

2) 施策メニュー

対象地域	想定施策	概要	実施時期	京都府	元 地 市 町 村	市 民	関 連 事 業 者	備 考
全域	③ JR奈良線、学研都市線の複線化の促進	複線化による公共交通サービス水準(列車本数、定時性確保)の向上	中～長期	○	○	○	○	
	③ 鉄道沿線でのMM	JR奈良線、近鉄京都線、京阪線における公共交通利用者増のための、MMの実施	短期	○	○	○	○	事業中
	⑤ 自由目的での自動車利用へのMM(お出かけマップづくり)	公共交通の運行情報など必要な情報をまとめた地図の作製と、それを用いたMMの実施	短期	○	○	○	○	事業中
	⑤ 自由目的での自動車利用へのMM(学校での取り組み)	バス交通を対象とした授業の支援など小学校でのMMの実施	短期	○	○	○	○	事業中
近鉄大久保駅～JR新田駅	①、② 近鉄大久保駅～JR新田駅の機能強化、周辺整備(街)宇治淀線整備	広域的な拠点である近鉄大久保駅でのバス乗り継ぎ機能の強化、JR～近鉄間の連絡機能の強化、周辺の市街地整備	短～長期	○	○	○	○	
JR六地藏駅	① JR/地下鉄六地藏駅の機能強化	JR六地藏駅におけるバス乗り継ぎ機能の改善	中～長期	○	○	○	○	
JR京田辺近鉄新田辺	① JR京田辺・近鉄新田辺駅の連絡機能強化	JR京田辺～近鉄新田辺駅の連絡機能の強化	短～中期	○	○	○	○	
JR/近鉄三山木駅	①、② JR/近鉄三山木駅の駅周辺整備、乗り継ぎ・アクセス機能強化	土地区画整理による駅前広場等の整備と、近隣の同志社大学・住宅市街地へのバスによるアクセス方策の検討	短～中期	○	○	○	○	事業中
近鉄寺田駅	② 近鉄寺田駅の周辺整備	市の中心駅にふさわしい駅機能の確保	中～長期	○	○	○	○	
久御山町宇治原町宇治市	④ 工業団地等への公共交通手段の確保	自動車通勤による混雑の緩和、環境負荷の軽減等を目的とした、宇治田原工業団地や久御山町内の事業所への送迎バス等の共同化や路線バスの充実など公共交通の確保	短～中期	○	○	○	○	事業中
八幡市	④ バス空白地帯での公共交通網の確保と利用促進のためのMMの実施	バス空白地帯を補うコミュニティバス路線の検討や利用促進策としてのMMの実施	短～中期	○	○	○	○	
八幡市	④ 京阪八幡駅の機能強化	パリアフリー化や駅北口の整備検討	中～長期	○	○	○	○	

短期は2-3年程度、中期は5年程度、長期は10年以上先を想定(着手時期)
○印は、事業主体及び関係協議機関等を表す

注) 施策の進捗状況や地域の交通実態の変化を把握し、評価を行いながら適宜計画を見直す

(4) 山城南地域

1) 地域の課題と施策の方向性

① 拠点駅の機能強化と駅周辺市街地整備

JR木津駅、JR祝園駅・近鉄新祝園駅、JR加茂駅周辺では土地区画整理が進んでおり、引き続き区画整理事業地への都市機能の誘導・充実が必要。

② JR奈良線等の複線化促進と鉄道の利用促進施策

JR奈良線、学研都市線、近鉄京都線については、駅周辺の人口集積や潜在需要に比べて駅乗降者数が少ない。需要の掘り起こしを図るため、MM施策や公共交通の情報提供が必要。同時にJR奈良線、学研都市線については単線区間が残っており、利用促進に併せ、これらの複線化整備促進による利便性向上が望まれる。

③ 駅へのアクセス整備

けいはんな線の開業に伴い、新駅へのバス路線が充実されることもあり、これらの利用促進のため、MM施策の実施や、事業が進んでいる学研都市とJR木津駅を結ぶバス路線の充実が必要。

④ 休日・昼間時の自由トリップに着目したMM施策の実施

木津町、精華町については、各鉄道駅周辺の人口密度が高い割に、自動車分担率が高く、買い物など自由目的を中心に過度な自動車利用の抑制を図るMM施策の実施が必要。同時に、公共交通の運行情報など必要な情報の提供も必要。
一方、鉄道駅から離れた地域に住宅市街地が点在する木津町・精華町ではコミュニティバスを各町が運行しており、これらの利用促進策としての各種MM施策の実施が必要。